



かわせみ号

第164号

発行日：平成29年9月1日

発行者：福田脳神経外科病院

院内情報委員会

(☎0952-29-2223)

診察室から ～ 頭部の打撲 ～

院長：田口 明

外来の診察時によく「頭を打ったので（頭だから特に）心配です」という相談を受けます。患者さんが気にされる点は「後頭部を打った」「打った時に大きな音がした」などで、打撲時の状況や部位で脳への影響度を判定している方が多いように感じます。判定には、打撲部位や原因、その場の状況も大切な情報ですが、より重要で必要とされるのは、打撲直後の症状、およびその後の体調変化です。

脳にまで影響が及んだ場合は意識障害を生じることが多く、軽症例は短時間の健忘程度ですが、重症例では打撲前のことも思い出せないような長時間の健忘やけいれん発作などがみられます。ほかにめまい、吐気、嘔吐^{おうと}なども打撲後によく見られる症状です。特に小児では嘔吐がよくみられ、刺激してもすぐにウトウトと眠り込んでしまうようなことがあります。

しかし、これらの症状は一時的でほとんどの場合、自然に軽快します。打撲からしばらくたって起こる症状の予測は困難ですが、高齢者の場合、まれに打撲して数週間から数ヶ月後に歩行障害や意識障害をきたし、検査をしてみると脳表面に血液がたまっていることがあります。

どんな場合でも打撲後は局所を冷やして安静にし、最低6時間ぐらいは慎重に症状経過を観察してください。不安な時はすぐにかかりつけ医で受診し、検査の必要性や症状変化時の対応などを尋ねてみて下さい。

消防訓練行いました

火事だ〜!!!



夏の防火訓練は汗だくになります。気温が高いせいもありますが、参加者全員が一丸となって本気で取り組むからです。今回から夜勤を担当している医師にも参加していただきました。すべての職員が防火訓練を主体的に参加することで、万が一火災が発生した時に患者様の命を守るための行動を起こせると確信しています。

参加したスタッフの感想

今回の火災訓練ではリーダー役を行い消防への通報、避難誘導の伝達を行いました。初めて火災通報設備や非常用設備を使用し操作方法に戸惑いました。また現場状況などスタッフ間で情報共有や報告ができていないと適切な対応ができなくなると実感しました。消防署への通報、状況報告では患者状況、火災発生場所などについては現場での状況を正しく伝達できたと思います。夜間など少人数での避難をとると一人一人が防火に関わる設備を把握しておくことが適切な初期消火に繋がると感じました。(看護部 I.Y.)



通報中!!

避難誘導中!



火事だあーっ!!
消火っ!!

初めて当院での火災訓練に参加をしました。通報の仕方・他看護師との連携の取り方、患者様の誘導の方法等を学びました。

この火災訓練を活かせるように常に何があるのか、通報の方法等をしっかり把握し行動できるようにしていかなければならないと思いました。(看護部 K.R.)

消防訓練を実施しての反省点として、火災現場が防火扉の内側だった為、大声で叫んだが下の階まで聞こえていなかった。扉を開けて叫びながら走って、伝えなければいけなかった。

(看護部 N.Y.)



消火器使用練習中!!

訓練時は繰り返し避難行動を促す院内放送だったり、職員が大声で走り回ったりして落ち着かない環境だったとは思いますが、より現実に対応した訓練を行っていますのでご容赦いただけますようお願いいたします。(防火担当 上野 泰史)

MRI の危険性について 勉強会ありました

医療安全対策委員会

内容

- ①事例検討（MRI 検査で金属の物を持ち込んでしまった事例）
原因と今後の対策をグループで意見を出し合い発表



グループワーク



話し合った事を
発表に向けて
用紙に記入

- ・実際におこった事例を使用する事でどういう時にミスが発生してしまったのか、なぜ起こってしまったのかが明確になりました。
- ・チェックリストを用いての確認作業は、口頭確認のみだけではなく目視しボディータッチを行って確認することの大切さを再確認しました。

グループ
別に
発表



- ②MRI 検査の電話での
予約の取り方・手順

予約の電話があったから、
ただ予約を入れるのでは
なく、予約をする際には、
必ずペースメーカーや
人工関節などの体内の
金属の有無を確認する
必要性を学びました。



- ③車椅子のベルトの使用法

患者様の転倒・転落を防ぐため、
安全ベルトがついています。
正しい安全ベルトの装着方法を再度確認し、
患者様に合ったベルトの調整をするよう
勉強しました。



まとめ

確認作業は MRI に限らず全て作業において重要な作業の1つです「大丈夫だろう」など決められた事柄を実施せず作業を怠った時に重要な事故の発生に繋がります。多忙な時こそ、1つ1つの作業を丁寧に行い、安全安心に検査を受けてもらえるよう、心がけていきます。

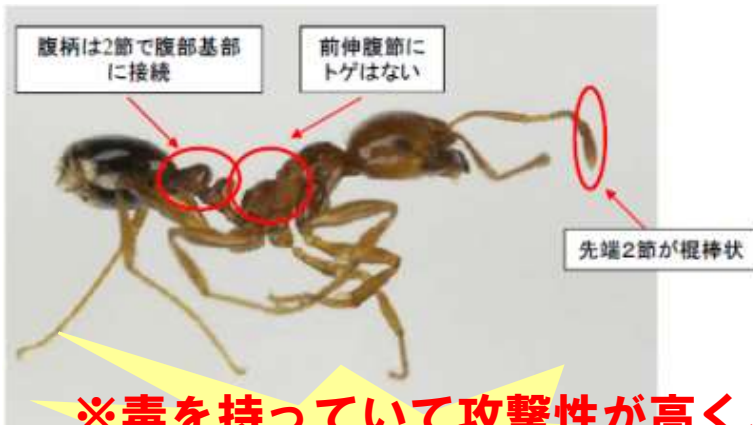
合格おめでとう！！

理学療法士の田代さんが、『介護支援専門員実務研修受講試験』に
合格しました！！

ヒアリに注意！

院内感染対委員会

⚠ ヒアリとは・・・



- ・ 赤茶色で、ツヤツヤしている。おしりの色は暗め。
- ・ 色々な大きさのアリが混じっている。(2.5mm～6.0mm)
- ・ 土で塚を作って集団で暮らす。
→注意：塚をつつくと、ワッと出てきて集団で刺します。あやしいアリがいたら、近づかない、触らないようにしましょう。

※毒を持っていて攻撃性が高く、積極的に刺してくるため大変危険です！！

⚠ 刺されると・・・

火傷のような激しい痛みした後、体質によっては呼吸困難やアナフィラキシー症状(動悸や息切れ・じんましん・血圧の低下など)を起こすこともあります。万が一刺された場合は、刺された箇所に触れず体調に変化がないか注意し、20～30分安静にして様子を見ましょう。

⚠ 異常があればすぐに受診しましょう。



ほっと一息コーナー～患者さまの短歌紹介～



宮地フミエ様 (91歳)より 短歌を頂きました(^^) ご紹介します。



これ位、やれない事は
ない筈と
して見りや意地悪
腰がじやまする



温泉に行く筈だった
車椅子
一番のりは
病院だとは